（独）農業環境技術研究所「双方向キャリア形成プログラム農環研モデル」

独立行政法人農業環境技術研究所（農環研）は、茨城県つくば市にあり、農業と環境に関する日本で唯一の公的研究機関として、人間の調和と共存を目指す高い水準の研究を維持し、世界の食糧問題と環境問題の克服に貢献することを基本理念に謳っています。

平成 21 年度から 23 年度まで、女性研究者支援モデル育成事業「双方向キャリア形成プログラム農環研モデル」を実施しました。この農環研モデルでは、「次世代や若手の育成」と「それに関わる研究者の指導力や総合的な研究力の向上」の“双方向”の女性研究者のキャリア形成促進を目指し、女子学生の裾野拡大から若手・中堅の女性研究者の家庭と仕事の両立とキャリア向上までの支援を実施しました。その結果、女性研究者の着実なキャリアアップが見られ、ワーク・ライフバランスに対する意識改革が図られ、所内に定着しつつあります。17%だった女性研究者割合は 19%まで上昇しました。

プログラムが終了した現在は、事業実施期間とほぼ同等の支援メニューを所内独自予算で継続し、取り組みの制度化や実施体制の強化を通じて、支援のさらなる定着を図っています。女性研究者がワーク・ライフバランスを保ちつつ、競争的環境でも生き残ることが出来るようにキャリアアップを支援し、「2020 年までに女性研究者割合 30%以上とする」という最終目標に向けて、努力を続けています。

以下に現在継続中の具体的な取組内容を示します。

I. キャリア形成・研究力向上のための支援
海外で開催される国際学会参加費の援助、英語論文を作成する際の英文校閲料金を支援する国際経験蓄積プログラム、海外の第一線で活躍する女性研究者をお招きしてワーク・ライフバランスについて講演して頂くロールモデル講演会、所内研究職員の有志が先輩研究者としてメンタリングを行うメンター制度などを実施しています。女性ポスドクや若手女性研究者の研究実践力の向上と、中堅女性研究者の指導力やメンターとしての資質の向上等の総合的な研究力の養成を図ります。

II. 出産・育児・介護との両立支援
育児・介護などに関わる女性研究者の研究活動を補助するため支援研究員を雇用しています。また、カウンセラー（メンタルヘルス専門家）とライフイベントの専門家（助産院院長）それぞれによる相談窓口を設置しています。さらに、グループウェア上での情報窓口を運営して、両立に関する悩みや情報の共有化を図り、意識改革や制度見直しの提言を行っています。

III. 次世代育成支援
女子学生の裾野拡大を図ると共に、女性研究者のサイエンスコミュニケーション能力を向上させるため、出前授業やサイエンスカフェなどのアウトリーチ活動を実施しています。

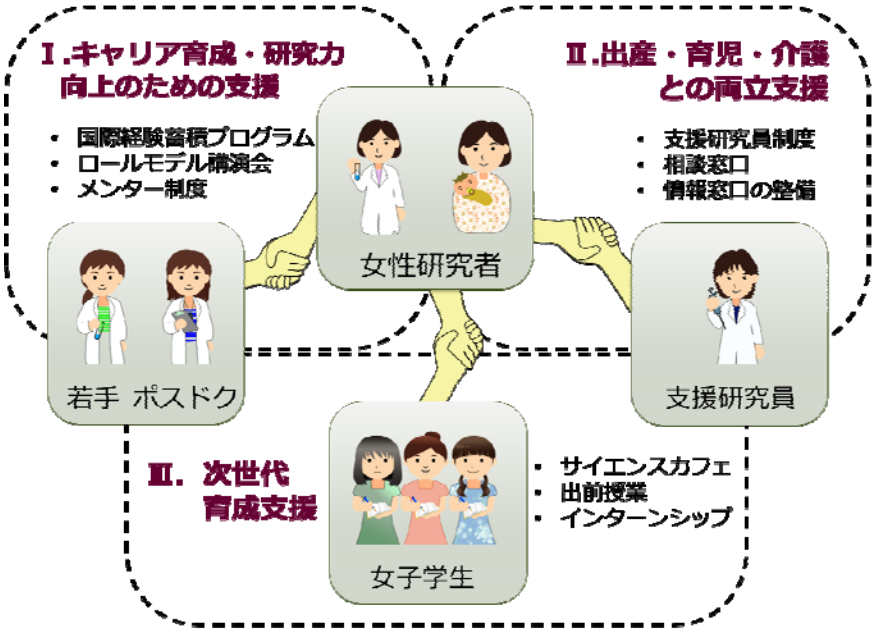


図. 双方向キャリア形成プログラム農環研モデルのイメージ、共に成長する！

【連絡先】　独立行政法人　農業環境技術研究所　企画戦略室
TEL: 029-838-8183、FAX:029-838-8199　E-mail:danjo@niaes.affrc.ac.jp
URL：http://www.niaes.affrc.go.jp/

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業
文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」

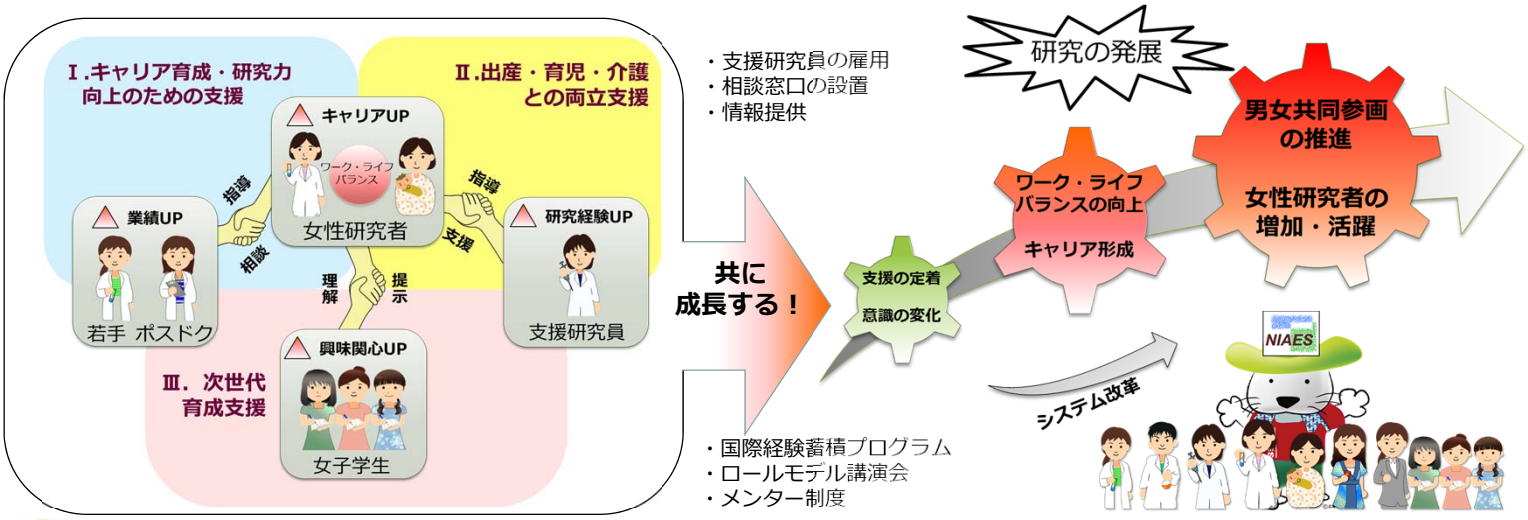
H21～H23年度(終了)

独立行政法人　農業環境技術研究所

「双方向キャリア形成プログラム　農環研モデル」

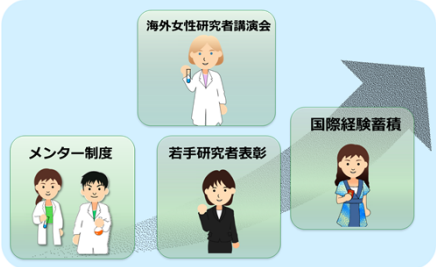
双方向キャリア形成プログラムとは？

次世代の研究者を志望する**若者や若手研究者を育成**するとともに、指導に当たる**研究者の指導力を向上**させ、**双方向に女性研究者のキャリア形成を促進**します。それぞれの研究者のライフ・ステージに応じて、**研究と家庭の両立を支援**し、女子学生へのロールモデル提示を通じて研究に携わる者の**裾野拡大をはかる**など、女性研究者のキャリア形成のための支援策を、**総合的かつ効率的に推進する**ことを目指します。



双方向キャリア形成プログラムの3つの柱

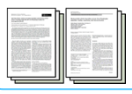
取組Ⅰ.キャリア育成・研究力向上のための支援



メニュー1：国際経験蓄積
国際学会参加費を援助したり、英語論文を作成する際の英文校閲料金を支援することで、国際的に存在感のある研究者になることを応援しています。

英語論文作成支援
H21―支援・1―受理・1
H22―支援・3―受理・3
H23―支援・2―受理・2
H24―支援・3―受理・2
H25―支援・4―受理・4
H26―支援・2―受理・2

国際学会等出張支援（延べ18件+予定2件）
H21― ASA-CSSA-SSSA(米), IRRI(比)
H22― Lorence Berclay(米), 国際昆虫学会(ブ)
H23― IALE World Congress(中)等
H24― 微生物生態国際学会(デンマーク)等
H25― Global DNDC Network国際学会(中)等
H26― IWA流域管理スペシャリスト会議(米)等



メニュー2：海外女性研究者講演会
国際的に活躍する外国人女性研究者を招聘し、講演会などを通じてロールモデルを提示します。これまで5人の著名な研究者が訪れています。

メニュー3： メンター制度
任意のメンター制度を運営しています。メンターに、2 回の専門研修を提供し、メンター・メンティーのための交流会を 4 回開催しています。

メニュー4： 若手研究者表彰
所内の若手研究者表彰に積極的に女性研究者を推薦しています。これまで 1 名の女性研究職員と 1 名の女性ポスドクが受賞しています。

取組Ⅱ.出産・育児・介護との両立支援

メニュー1：支援研究員制度
出産・育児に関わる女性研究者の研究活動を補助するため支援研究員を雇用しています。これまで4名の女性研究職員を支援しました。

メニュー2：相談窓口
助産院の医院長による女性よろず健康相談と専門カウンセラーによるカウンセリングルームを開設しています。

メニュー3：情報窓口
所内での女性研究者支援に関する情報を一元的に管理し、自由な意見交換の場となるBBSを開設しています。所外に向けては女性研究者支援に関するWebサイトを通じて発信しています。

女性研究者支援に関するWebサイト

所内掲示板

BBS

取組Ⅲ. 次世代育成支援

メニュー1：サイエンスカフェ
女性研究職員による一般向けの科学講座を行っています。

メニュー2：出前授業
女性研究職員や女性ポスドクによる大学学部・高校などでの出前授業を行いました。

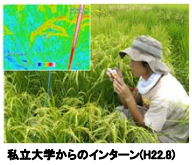
小石川高校(H21.7)

水戸第2高校(H22.11)

宇都宮大学(H22.10)

京都大学(H21.11)、日本生物工学会(H22.11)、新潟薬科大(H25.8)等

メニュー3：インターンシップ
所内のインターンシップ制度を活用し多くの女子学生を受け入れています。H19年度の制度発足以来41名のインターン生を受け入れていますが、18名が女子学生でした。


私立大学からのインターン(H22.8)

【連絡先】　独立行政法人　農業環境技術研究所　企画戦略室（男女共同参画推進担当）
TEL: 029-838-8183、FAX:029-838-8199　E-mail:danjo@niaes.affrc.ac.jp　URL：http://www.niaes.affrc.go.jp/